

令和4年11月8日

佐倉市長 西田 三十五 様

佐倉市議会 自由民主さくら

予算申請に係る申し入れ書

令和5年度の予算編成について、会派自由民主さくらで以下の点を申し入れますのでご査収よろしくお願い申し上げます。

1. 休日夜間救急診療所の歯科治療の廃止や小児初期救急診療所の時間短縮による事業費縮減を一般財源化せず、18歳までの医療費助成制度の原資とし、子育て世代の負担軽減に努めること。
2. 医療的ケア児支援法に伴う適切な支援に早急に取り組むこと。
 - ・学校看護師等の配置
 - ・医療的ケア児者への蓄電池の配布
 - ・早急な災害時の個別避難計画の策定
 - ・福祉避難所への直接避難と福祉避難所への蓄電池の配備
3. 井野小学校で開設している「きこえの教室」を、児童の進学に合わせ中学校でも開設し、地域の学校で学べる環境を整えること。
4. 欠席児童生徒に対しては、常にオンライン配信で授業を受けられる体制を整えておくこと。
5. 通学路の一斉点検で見えてきた危険箇所への対応するための予算編成を行い、地域の見守りに頼っている箇所へも抜本的な対策を講じること。
 - ・西志津小学校西門から勝田台に抜ける通学路にグリーンベルトの設置
 - ・西ユーカーが丘4丁目付近の信号のない、八千代・印西の抜け道への、外側線修繕及びセンターライン修繕
 - ・井野1025付近の交通量が多く、道が非常に狭い箇所への、外側線修繕 車線分離標新設 路面標示修繕
 - ・宮ノ台歯科交差点への交通安全対策の更なる強化、路面標示修繕

6. オーガニック給食は全34校で導入品目を増やししながら、有機農家の安定経営と慣行農業からの移行をサポートし、新規就農による定住人口を増やしていく。給食に納品するための学校との納入品目の調整、配送や欠品対応、有機JASの申請等は、市の職員がコーディネーターとなり運営していくこと。
7. 現在の農業形態は中小規模農家が中心のため耕作地整備や安定経営が難しい。応急的な補助制度を見直して、農地の集約をおし進め大規模経営農家によるスマート農業の促進、支援の構築。
8. 夢咲くら館の開館に伴い、新しい図書館の在り方と活性化に寄与するような、異業種交流などの夜間利用やカフェの運営等有効活用を行うこと。
9. 市の魅力発信として多くの有形無形文化財や産業遺産であるSLなど、集客が望めるものや維持費用がかかるものへの支援強化。佐倉市防災活動でも利用している、高崎川南公園の利用者のための駐車場やトイレの設置。
10. ふるさと広場の拡充については、用地買収で後れを取らないよう、地権者との協議を十分に重ね水辺の利点を最大限活用すること。また、アクセスが悪ければ集客も見込めないので、田町バイパスの早期開通・船着き場の整備及び駐車場の整備も早急に完了すること。
11. 緑の基本計画を早急に策定し、生涯スポーツが行える健康な市民を増やすために、スポーツやアクティビティに特化した魅力ある公園整備を行うこと。